

●代表質問とは？

2人以上所属する“会派”の代表者が、毎年12月定例会と一般選挙後の最初の定例会で行います。
(各会派の質問時間は〔基礎時間40分＋(会派所属議員数－1)×5分〕となっています)

●会派とは？

市議会の中で、主義、主張を同じくする議員で構成された団体のこと。1人でも会派を作ることができますが、代表質問をすることはできないことになっています。

ては。
【答】 職場内研修が効果的と思うが、職員数を減らす命題もあり、何が適切か研究する。

市民派連合

質問者 小野 光明

丸山寿子・永田公由
今井英雄

質問時間55分

スポーツ振興
基本計画の
策定を

◆ハイテク工業団地の造成を
【問】 市長が2期目の公約で掲げたハイテク工業団地の造成方針について、その具体的な場所や今後の日程はどうなるのか。また、「信州版シリコンバレー構想」で最終的に重要になるのが世界との連携と考えるが、所見はどうか。

【答】 ハイテク工業団地は昭和電工周辺や既存の工業団地の中で検討したい。塩尻インキユベーションプラザの入居会社が「卒業後」に進出できるように環境を整えたい。同構想に関しては県テクノ財団等

とネットワークを拡大させるほか、世界展開する中京地方の企業等との連携も図りたい。
◆新総合体育館のあり方は

【問】 新総合体育館のあり方を巡っては建設研究委員会で、議論が始まった。老朽化に伴う施設の新社に理解はできるが、ハード優先からソフト重視に転換しないと「箱物批判」も起きやすい。それを避けるためにも、市が来年度から方向性を打ち出す総合地域スポーツクラブの設立に向け、国が求めるスポーツ振興基本計画をこの際、策定すべきではないか。

【答】 総合地域域のクラブは今後、順次設けていく必要があるが、振興基本計画は各方面の意向を踏まえて研究したい。



市民健康増進に向けた計画を

◆税収の見通しは

【問】 地方においても法人所得の増加や税制改正等によって歳入面で一部に明るい材料もあるとされる。市の今年度上半期の実績からすると、新年度の税収額見通しはどうか。

【答】 上半期は法人税13%増など市税全体で47億円となった。新年度は不安定要素があるものの、数億円程度の税収増は見込まれる。

◆住民福祉の向上を

【問】 国が昨年3月に地方行革新指針を示して以来、市でも集中改革プランにより行財政改革を進行中だが、最終目標として究極の行革像はどのように考えるのか。また、行政の中核機能は、どう定義するか。

【答】 市民サービスが簡素で効率的に運営されるのが重要。最終的には、市民が塩尻に住んで良かったと思える満足度を向上させる取り組みが、不断無く実行されることだ。行政の中核は、住民福祉の向上と市民の安全安心の保障。予測不能な事態に備える機能も必要だ。

◆七月豪雨災害の教訓は

【問】 7月豪雨災害を教訓に避難勧告の指針を策定する方針

を明確にしているが、具体的な基準値はいつまでに定めるのか。

【答】 来年度から雨量計を設置して雨量データを収集するなどして、地域の特性を十分に踏まえた上で、順次定めるようにしたい。

市政同志会

質問者 中野 長勲

太田茂実・吉江弘紀
中原巳年男

質問時間55分

住み良い
塩尻
創りについで

◆県との関係は
【問】 村井県政への要請は何をしたか。

【答】 知事、副知事に中信地区産廃候補地問題等、引き続き重要課題を機会を捉え要請する。

◆今後の組織は

【問】 副市長制を今後どのように考えているか。

【答】 去る10月臨時会で、選任をされている助役、収入役の現体制を進めていく。